

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（大修館書店「論理国語」（論国705））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。特に、今までの国語学習の総括としての知識を深める。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第一 学期	【第Ⅱ部】1 自己と他者 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・「贈り物」についての筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	6
	【第Ⅱ部】2 コミュニケーションの手段 記号的メディアと物理的メディア ・対比的な概念を的確にとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・コミュニケーションの手段とその特徴について考え方を深める。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	【知識・技能】 ・対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	【第Ⅱ部】3 メディアの変容 消費されるスポーツ ・具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・スポーツとメディアの関係についての考えを深める。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	6
	【第Ⅱ部】4 言語の探究 人を指す言葉 ・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・日本語の特徴について考え、言葉に対する理解を深める。	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
	【第Ⅱ部】5 政治と社会 多数決を疑う ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・音田浩守の「いびり」について、	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や				

第二学期	<p>・思慮欠けのしつこくを批判せず、社会制度のあり方を考える。</p>	<p>め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>構成・論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいずれもを把握している。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り</p>	○	○	○	4
	<p>【第Ⅱ部】</p> <p>問いを立ててレポートを書く</p> <p>・文学作品「檸檬」を読み、疑問に思った点について、自分なりの仮説をたてる。</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・効果的な段落の構造について理解を深めている。</p> <p>・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。</p> <p>【書くこと】</p> <p>・「書くこと」において、テーマをふまえながら集められた情報の考えや根拠などを整理している。</p> <p>・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から考えを検討し主張を明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・進んで多面的・多角的にテーマについてとらえようとするともに、自らの考えを明確にし伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>【第Ⅱ部】6 存在への問い</p> <p>日常に走る亀裂</p> <p>・具体的な説明と抽象論との関係をとらえる。</p> <p>・筆者の身体観を的確に読み取り、身体や自己意識に対する認識を深める。</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。</p> <p>・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。</p> <p>・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。</p> <p>・「読むこと」において、筆者の思考をふまえて、既有的な知識や経験を基に自分の考えを深められている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>【第Ⅱ部】</p> <p>問いを立ててレポートを書く</p> <p>・文学作品「舞姫」を読み、疑問に思った点について、自分なりの仮説をたてる。</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・効果的な段落の構造について理解を深めている。</p> <p>・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。</p> <p>【書くこと】</p> <p>・「書くこと」において、テーマをふまえながら集められた情報の考えや根拠などを整理している。</p> <p>・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から考えを検討し主張を明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・進んで多面的・多角的にテーマについてとらえようとするともに、自らの考えを明確にし伝えようとしている。</p>	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
第三学期	<p>アンケート調査をもとに書く</p> <p>・アンケート調査の留意点を理解し、適切に実施する。</p> <p>・調査結果を適切かつ効果的に用いて文章にまとめる。</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・積極的に情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>対比して論じる</p> <p>・対比しながら論じることの効果を理解する。</p> <p>・対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く</p>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・「書くこと」において、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・積極的に、学習課題に沿って、対比の構造をとらえて文章を書こうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>相手を意識して書く</p> <p>【知識及び技能】主張の根拠</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】的確な表現へ</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】他者への配慮</p>	<p>・文章の組立てや進め方を工夫して書く。</p> <p>・自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにする。</p> <p>・相互評価がもつ機能を認識し、自分の表現を改善する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</p>	○	○	○	8
						合計	
						78	